

# ハイヤー・タクシーの交通事故発生状況 令和5年中



## 1 交通事故発生状況

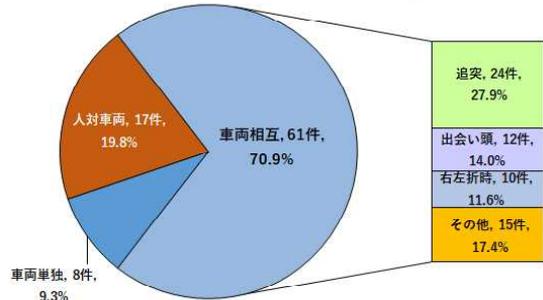
令和5年中のハイヤー・タクシーが第1当事者となった人身交通事故（以下「ハイタク事故」という。）は、前年と比較して、発生件数、負傷者数は減少しました。

また、死亡事故は2件2人発生し、前年と比べ1件1人増加しました。

事故類型別では、車両相互が約7割（86件中61件、70.9%）を占め、内訳では、追突が約3割（24件、27.9%）で最も多くなりました。

違反別では、安全不確認が約5割（41件、47.7%）を占めました。

【事故類型別発生状況】



【ハイタク事故の発生状況】

(令和5年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	86	2	2	8	97	105
前年	104	1	1	12	108	120
増減	-18	1	1	-4	-11	-15
率	-17.3	100.0	100.0	-33.3	-10.2	-12.5

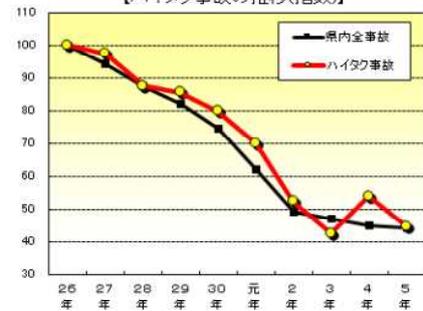
## 2 交通事故の年次推移 (基礎データ平成26年～令和5年)

ハイタク事故発生件数は、全事故と比較すると同様のペースで減少しており、令和3年には100件を下回りましたが令和4年に再び100件を上回り大きく増加しました。

令和5年の発生件数は、前年に比べ大きく減少し、令和3年と同水準まで減少しました。

また、死亡事故が2件発生し、前年に比べ1件増加しました。

【ハイタク事故の推移(指数)】



↑平成25年を100として指数化したもの

区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
発生件数	193	188	169	165	154	135	101	82	104	86
死者数	0	0	0	0	1	4	0	0	1	2
傷者数	230	218	197	189	189	163	125	97	120	105
ハイタク台数※	5,098	5,198	4,435	4,940	4,905	4,628	4,493	4,358	4,396	-
100台当たり件数	3.8	3.6	3.8	3.3	3.1	2.9	2.2	1.9	2.4	-

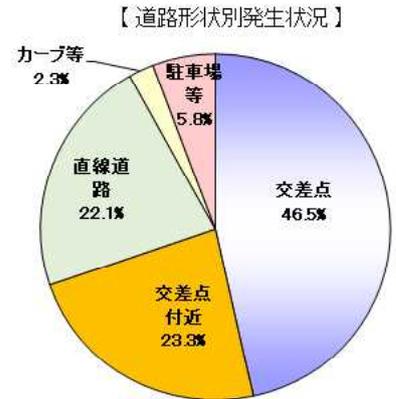
※宮城運輸局資料

区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
県内全事故	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033
県内ハイタク事故	193	188	169	165	154	135	101	82	104	86
- 仙台市内	158	160	142	133	131	111	72	74	86	74
- 仙台市内以外	35	28	27	32	23	24	29	8	18	12

### 3 ハイタク事故の特徴 (基礎データ令和5年中)

#### (1) 交差点での発生が多い

道路形状別では、交差点での事故が約5割(86件中40件、46.5%)を占めて最も多く、全事故における構成率(4,033件中1,634件、40.5%)と比較して6.0ポイント高くなりました。



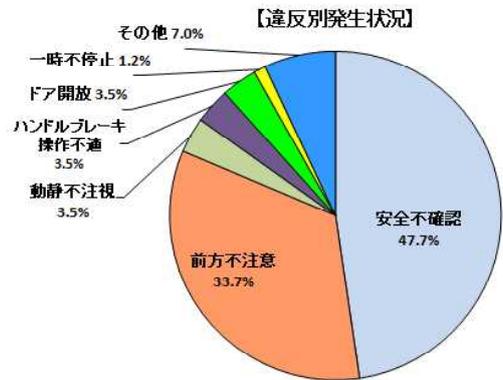
#### (2) 追突事故が多い

事故類型別では、追突事故が27.9%(24件)を占めて最も多くなりました。

また、行動類型別では、進路変更の事故が7.0%(6件)を占め、全事故の2.8%(114件)と比較して4.2ポイント高く、最も差が大きくなりました。

#### (3) 安全不確認による事故が多い

違反別では、安全不確認が47.7%(41件)で最も多く、全事故の38.5%(1,552件)と比較して9.2ポイント高くなりました。



#### (4) 市町村道での発生が多い

道路別では、市町村道での発生が70.9%(61件)を占めており、全事故の47.1%(1,899件)と比較して23.8ポイント高くなりました。

#### (5) 約9割が仙台市内で発生

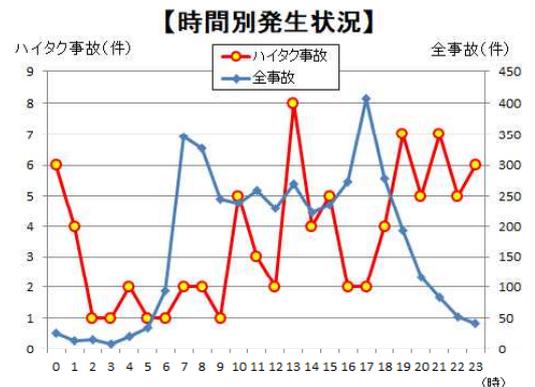
約9割(74件、86.0%)が仙台市内で発生しており、特に青葉区での発生が県全体の約5割(44件、51.2%)を占めました。

その他、仙台市内の区別発生件数は、宮城野区6件、若林区8件、太白区8件、泉区8件となりました。

#### (6) 夜間の事故が多い

時間別では、13時台が8件、次いで19時台と21時台が7件と多くなりました。

昼夜別では、夜間が6割(48件、55.8%)を占めており、全事故の27.2%(1,095件)と比較して28.6ポイント高くなりました。



### 4 過去5年間のハイタク事故月別発生状況 (基礎データ令和元年～令和5年)

過去5年間(令和元年～令和5年)の月別の発生件数は、12月が最も多く、次いで9月が多くなっています。

